

### テーマ「介護保険事業と地域のサポートについて」

介護保険制度は20年余経過し、次第に制度が複雑になり、わからないことが多くなった。そのため、制度が利用出来ること、出来ないことを学びながら、地域としてどのように支援していくのか考えることとした。



窓口相談

#### 行政との意見交換（介護保険課・地域包括ケア推進本部）

委員から出された具体的事例に対する対応などについて行政から説明を受けた。例えば、認知症の疑いがある人がいた場合、非常にデリケートな問題のため、まずは「地域包括支援センター」に連絡、相談し、専門的な立場で調整いただくことで、地域見守り体制づくりが出来ていくと考える。

#### 委員長報告

地域で要支援者を支援するには、地域の様々な機関、団体や地域の人々の連携が必要である。そのため、エリアごとに設置されている「\*地域包括支援センター」を核に連携し、自治会役員等も地域ケア会議などに参加することで、ケアマネージャーや介護事業者、民生委員などとの横のつながりが生まれ、住み慣れた地域でいつまでも暮らしていけるような助け合いの活動が推進されていく。



自宅訪問



地域ケア会議

※地域包括支援センター：介護・医療・保健・福祉などの側面から高齢者を地域ぐるみで支える、高齢者の何でも「総合相談窓口」。静岡市施設数 29（葵区 12・駿河区 7・清水区 10）令和4年4月現在

（写真はセンターの活動の様子）

### テーマ「ごみ問題について」

ごみに関する問題は日常生活に欠かせない問題で、ごみの減量もなかなか前へ進んでいない状況にある。日頃ごみ問題について困っていることや感じていることなどについて、率直に行政と意見交換を行うこととした。



#### 行政との意見交換（収集業務課）

ビン・カン分別方法の一本化、資源収集における不適切なものへの対応、昨今の古紙単価下落、ルールを守らないごみ出し問題などに対する意見交換を行い、一歩でもより良い方向に進むよう行政に問題提起を行った。

#### 委員長報告

家庭ごみに多く含まれる食品トレーなどのプラスチックごみは地球環境や生物の生態系を脅かす大きな要因となっている。そのため、一人一人が分別リサイクルに回すよう意識するとともに、行政でも分別回収などの対応を考える必要がある。また、ごみは毎日出るものなので、ごみ出しのルールの徹底と4R（レジ袋などを断る・減らす・再使用する・再生利用する）の推進を啓発していくことが大事である。



ごみの分別（食品トレー）



# しずおか自治連だより

令和4年4月1日現在推計人口684,940人 自治会・町内会数955会

## 静岡市歴史博物館 令和5年1月グランドオープン



歴史文化から静岡の未来をつくる。  
～静岡の過去を学び、今を知る。そして未来を考える。～  
歴史探求と体験、交流を融合した、新たなスタイルの歴史博物館が誕生します!

現在はプレオープン期間中です。建物1階部分をご覧いただくことができます。（1階は通年無料）



静岡市歴史博物館 外観



戦国時代末期の道と石垣の遺構

### 建物1階では戦国時代末期の道と石垣の遺構をそのまま展示

建設工事前の発掘調査で見つかった、長さ約33メートル、幅約2.7メートルにわたる戦国時代末期の道の遺構をそのまま露出展示しています。

徳川家康が最初に駿府城を築いた1580年代後半に作られた道と考えられており、その両側には武家屋敷のものと思われる石垣の遺構も残っています。400年以上前に作られた道を間近に見て、当時の町の面影を想像してみたいかがでしょうか。



1階 ギャラリー



3階展望ラウンジからの眺め

### 1階ギャラリーでは静岡市の歴史の流れをわかりやすく紹介

市内各地、各時代を代表する、静岡市の歴史を語る上で欠かせない資料を展示し、太古から続く土地の歴史の流れをわかりやすく紹介しています。

### 展望ラウンジからは駿府城公園の櫓やお堀、晴れた日には富士山も見ることができます

こちらはグランドオープン後の公開となりますが、プレオープン期間中に行われているイベント「展望ラウンジウォーク」に参加すれば一足先にご入場いただけます。



2階 展示室イメージ

### 2023年1月のグランドオープンから2、3階の展示室も公開開始

2階の展示室では静岡が誇る徳川家康公や今川氏の歴史を、そして3階では駿府、静岡の町に暮らした人々の歴史や文化をたっぷり紹介します。静岡のまちと人の歴史が、今の私達にまでつながっていることを実感できる展示となっています。

### 来年1月までのプレオープン期間中も、学芸員による歴史トークや展望ラウンジウォークなど、イベントを多数実施しています!

毎週土日祝日には博物館を起点に市内の歴史スポットを歩いて巡る「しずれきガイドツアー」も実施中です。ぜひ、博物館へ足をお運びください。

住所：静岡市葵区追手町4番16号 TEL:054-204-1005  
開館時間：9:00～18:00 休館日：月曜日（祝日の場合はその翌平日）  
※プレオープン期間中は博物館1階部分のみを公開しています。

詳しくは博物館HPをご覧ください



## 静岡市自治会連合会役員等の紹介

### 会長挨拶



静岡市自治会連合会会長の中村直保です。日頃より、本連合会の運営及び活動に対して、多大なるご理解とご支援、ご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

長引くコロナ禍の中、不自由な生活を強いられておりますが、人と人とのふれあい、助け合いを大切に、今後とも皆様と共に「安心安全で、住み続けられるまちづくり」を目指していく所存でございます。何卒、ご指導ご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

**人物の紹介**  
私の信条：「自主協働」「相互扶助」  
私が大切にしていること：「人と人とのつながり」と「自治会活動の見える化」  
私が取り組みたいこと：「デジタル化」と「1mm改革（小さな一歩の積み重ね）」の促進

## 令和3年度各専門委員会の活動報告

### 生活安全対策委員会

委員長：田宮 一彦



#### テーマ「防災対策 ～要援護者への対応について～」

令和2年度は新型コロナウイルス対策を踏まえた新たな避難所運営について協議したが、令和3年度は自力で避難することが困難な要援護者の対応について、特に地域の関わりが大切であるため取り上げることにした。

#### 行政との意見交換（福祉総務課・危機管理課）

行政から「避難行動要支援者名簿」など避難支援制度の説明を受け、名簿の記載内容や配付範囲などについて意見交換を行った。記載内容が古いことや途中で要支援になった場合随時の変更が必要であること、配付範囲が限定され、支援する側に必要な情報が伝わりにくいことなどを指摘した。

#### 委員長報告

日頃から近隣で声を掛け合ったり、支え合ったりする関係やお互いをよく理解し合える環境を作ることが災害時の要援護者への対応に繋がっていく。「要支援者名簿」だけでなく、地域にはどのような人がいて、どのような支援が必要であるかを地域で把握していく必要があり、また、支援にあたってはきめ細やかな対応が期待できる女性の役割が大切である。



防災訓練（要援護者）の様子



防災訓練（要援護者）の様子

### 令和4年度 常任理事会



常任理事会は静岡市自治会連合会の役員（下の表）で構成されており、月一回会議を開催し、各種事業の計画・運営、行政機関等との調整などを行っています。

#### 静岡市自治会連合会（三役・常任理事）

|     |    |    |    |     |     |    |     |     |      |    |    |    |     |    |     |    |    |
|-----|----|----|----|-----|-----|----|-----|-----|------|----|----|----|-----|----|-----|----|----|
| 西河内 | 辻  | 清水 | 川原 | 大里東 | 富士見 | 竜南 | 梅ヶ島 | 西奈南 | 常任理事 | 大川 | 三保 | 南部 | 三番町 | 船越 | 副会長 | 森下 | 会長 |
| 中山  | 菊地 | 隅倉 | 白木 | 三津山 | 石田  | 柴  | 小泉  | 板谷  | 中村   | 中村 | 櫻田 | 山本 | 瀧   | 田宮 | 田宮  | 中村 | 中村 |
| 治己  | 忍  | 正員 | 康雄 | 清   | 幸彦  | 長昌 | 住雄  | 浩禎  | 満    | 芳宏 | 雅司 | 義弘 | 文雄  | 文雄 | 直保  | 直保 | 直保 |

### 令和4年度 専門委員会

◎ 委員長 ○ 副委員長  
☆ オブザーバー



静岡市自治会連合会では各区から選任された委員により五つの専門委員会を設置し、それぞれ今課題となっているテーマに基づき、研究、協議を行っています。なお、活動状況については各自治会活動の参考にしていただくため、各委員長が翌年度の総会の席で報告しています。

令和4年度の専門委員会の委員は表のとおりです。

#### 広報編集委員会

全戸配付する静岡市自治会連合会の広報紙「しずおか自治連だより」の作成、編集及び発行

|    |     |     |    |
|----|-----|-----|----|
| ☆  | ◎   | ◎   | ◎  |
| 大川 | 袖師  | 不二見 | 大谷 |
| 宮竹 | 千代田 | 新通  | 川原 |
| 清沢 | 折戸  | 大石  | 眞也 |
| 中村 | 川口  | 山本  | 鷲野 |
| 裕次 | 俊也  | 輝雄  | 隆雄 |
| 満修 | 修   | 勉   | 郎  |

#### 生活安全対策委員会

令和4年度テーマ「防災対策 ～要援護者への対応について～」

|     |     |    |     |
|-----|-----|----|-----|
| ☆   | ◎   | ◎  | ◎   |
| 三保  | 駒越  | 蒲原 | 馬淵  |
| 長田東 | 南栗科 | 美和 | 大里西 |
| 駒形  | 有度  | 花崎 | 年員  |
| 櫻田  | 田辺  | 服部 | 稲葉  |
| 横山  | 谷津  | 好利 | 信彦  |
| 芳道  | 和博  | 利和 | 孝志  |
| 好雄  | 利文  | 信彦 | 誠   |

#### 福祉対策委員会

令和4年度テーマ「高齢者等の移手段について」「敬老事業の在り方について」

|     |     |     |     |
|-----|-----|-----|-----|
| ☆   | ◎   | ◎   | ◎   |
| 小島  | 浜田  | 長田北 | 長田西 |
| 西奈  | 井川  | 栗下  | 小林  |
| 杉浦  | 文一  | 靖明  | 一郎  |
| 瀧平  | 岡   | 長田南 | 足久保 |
| 三番町 | 三番町 | 三番町 | 三番町 |
| 義弘  | 文吾  | 克秀  | 寛一  |
| 勝美  | 景二  | 浩信  | 明   |

#### 環境対策委員会

令和4年度テーマ「空き家・放棄地について」

|     |      |     |    |
|-----|------|-----|----|
| ☆   | ◎    | ◎   | ◎  |
| 船越  | 庵原   | 飯田  | 久能 |
| 中島  | 千代田東 | 安倍口 | 由比 |
| 石切  | 山政   | 和   | 義  |
| 田宮  | 梨    | 滋   | 巳  |
| 佐々木 | 経    | 源   | 策  |
| 長島  | 石上   | 齋藤  | 健次 |
| 純彦  | 政和   | 義文  | 正男 |

#### 教育対策委員会

令和4年度テーマ「小中一貫教育の成果と課題について～より確かに進めるために地域ができること～」

|   |    |    |     |
|---|----|----|-----|
| ☆ | ◎  | ◎  | ◎   |
| 南 | 興津 | 江尻 | 東源合 |
| 中 | 服織 | 城内 | 入江  |
| 東 | 田  | 石上 | 和彦  |
| 東 | 田  | 田  | 田   |
| 東 | 田  | 田  | 田   |
| 東 | 田  | 田  | 田   |
| 東 | 田  | 田  | 田   |
| 東 | 田  | 田  | 田   |
| 東 | 田  | 田  | 田   |

### 教育対策委員会

委員長：柴 長昌

#### テーマ「地域が学校に協力（支援）できることについて」

9年間の一貫した学びを通し子どもたちを育てる「静岡型小中一貫教育」や地域の声を学校教育に取り入れる「コミュニティスクール」など、学校と家庭と地域の繋がりが今後ますます深くなるため取り上げることにした。



パソコンを使った教育

#### 行政との意見交換（教育センター）

行政から「一人一台パソコンによる教育」について説明を受け、管理の仕方、家庭での活用や今後の進め方など意見交換を行った。教育では子どもが自分の考えをつくるということが大切で、そのためにはパソコンを使った教育がとても役立つ。これからは更にICT教育を進め、同時にどの先生でも同じ様に関わることができるよう求めた。

#### 委員長報告

今までも、登下校の見守りや学校応援団活動など地域が学校に協力しているが、今後も静岡型小中一貫教育など、地域と一緒に進めなければならないことがたくさんある。地域の特性を生かした学校を作るため、地域と家庭がどんな学校にしたいか考え、また、自分の住んでいるところが好きだという子どもを育てるために、より深く地域が学校に関わっていただきたい。



地域と学校との協議



地域の方とのふれあい